

総合ドイツ語A

Practical German A

業：K2-17211MY、生命：K2-17211MS

素養科目 2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 フランク・リースナー(非常勤講師)、阪東 知子(非常勤講師)、相馬 大樹(非常勤講師)

授業担当者 A組：阪東 知子(非常勤講師)、B組：フランク・リースナー(非常勤講師)、C組：相馬 大樹(非常勤講師)

■教育目的（各クラス共通）

- 1年次の「入門」と「基礎」で学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、基礎知識の定着を図るための実践練習を積む
- 日常生活のさまざまな場面で使える語彙をふやし、基本文型を用いた会話表現ができる。
- 辞書を活用し、基本文法の知識を応用しながら、平易なドイツ語の文章を理解する力を養う。
- ドイツの童話作品、文化紹介、あるいは最近の医療ニュース、ドイツの医療事情など、多角的な教材の学習を通して、総合的なドイツ語力をつける。
- 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を役立てられるような語学力を養う。
【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音に習熟し、テキストを音読できる。(知識、技能)
2. 基本的な語彙や構文を用いて、ドイツ語での平易な文章表現ができる。(知識、技能)
3. 基本文法の知識を定着させ、比較的に長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。(知識、技能)

■授業内容

A組 阪東 知子(非常勤講師)

「聞く・読む・話す・書く」の基本的なコミュニケーション能力を身につけます。1年次に習得した文法知識を活かしつつ、日常生活で用いられる基本的な表現を使うようにすることで「ヨーロッパ言語共通参照枠」のA1レベルに相当するドイツ語能力を確実に身に付けることを目指します。ペアワークやグループワークを通じて学習者同士で協力しながらドイツ語を積極的に使いましょう。また、異なる文化的背景を持つ人々との共生についても考えていきましょう。

準備学習（予習・復習）：予習：わからない単語を辞書で調べる(30分)／復習：新しく学んだ単語や表現、文法を整理する(60分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。【成績評価方法】期末試験(60%)と平常点(授業態度・課題・小テスト等で40%)で総合評価する。

教科書：Netzwerk neu A1.1. Kurs- und Übungsbuch (Ernst Klett Sprachen GmbH.) (ISBN: 978-3-12-607154-3)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。履修者の習熟度に応じて授業進度を変更する場合があります。

B組 フランク・リースナー(非常勤講師)

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。教科書は各課ごとにドイツ人の生活をテーマにしています。文法の復習をしながら、会話の練習と新たな文法知識を積み重ねていき、各テーマについて考察します。

準備学習（予習・復習）：分からない単語は辞書で調べ、練習問題はあらかじめ自分でやってから授業に臨むこと。

予習：辞書を引いてわからない単語を調べる(30分)／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。(30分以上)

授業形態：グループワーク、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。

成績評価方法：期末試験(80%)、授業態度(20%)で総合評価する。

教科書：『どんどん話そうドイツ語』 Frank Riesner、田中雅敏 著 (郁文堂) 2019

ISBN 978-4-261-01270-5

参考書：独和辞典(電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可)、1年次で使用した文法の教科書は、手元に置いて参照できるようにしてください。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」(1単位)を取得した者に限る。

C組 相馬 大樹(非常勤講師)

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきましょう。文法事項を丁寧に復習しつつ、1年次よりもさらに踏み込んだ解説を行い、ドイツ語の初歩的な文法を定着させます。折に触れて、簡単な会話文やまとまった文章を読む練習も行おう予定です。ドイツ語圏の文化や社会事情に目を向けるとともに、日本語や英語とも違うドイツ語の世界を体感してください。

準備学習（予習・復習）：予習：テキストの新しい単語をチェックし，1 年次の教科書で文法事項に目を通しておく。(30 分)

／ 復習：新しく学んだ構文や表現を整理して覚える。(30 分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業（ICT 活用）、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や課題，小テストに関する質問等を個別に受け付け，説明をする。【成績評価方法】期末試験(80 %)，授業態度(20 %)で総合評価する。

教科書：木下直也ほか著『ブリュッケ ―初級ドイツ語文法・ふかくわかりやすく―』朝日出版社，2021 年

参考書：1 年次に使用した教科書と独和辞典(電子辞書可)

その他：履修者は，すでに「ドイツ語基礎」(1 単位)を取得した者に限る。